

Racing Development
TRD

NEW STYLE ONE MAKE RALLY
Vitz challenge

Round.3
in
信州

13 Jul. 2008



トヨタ部品長野共販株式会社



2008年7月13日(日)、初夏の蓼科高原を舞台に「Rd.3 in 信州」が開催された。

前日には「ヴィッツチャレンジ懇親会」が催され、100名を超えるエントリー・オフィシャル・関係者が集合。

美しい女神湖の夕日を眺めつつ談笑は続き、誰もが楽しいひとときを過ごした。

スタート地点は、昨年の車山高原から会場を移し、標高1500mの蓼科高原「女神湖駐車場」。

今年度のヴィッツチャレンジは、5月の開幕から今ラウンドまでほぼ1ヶ月おきに開催されており、参加者もスケジュールの調整に苦労していると思われるが、そんな予想を吹き飛ばすような今年最大の59台のエントリーとなった。

TRD Vitzchallenge
2008 Rd.3 in SHINSHU
Event data

- 主催 コンペラリーチーム (C.R.T)
- 開催日 2008年7月13日(日)
- 開催エリア 長野県内
- スタート会場 女神湖駐車場
- サービスパーク 女神湖駐車場
- ゴール会場 蓼科ふれあいセンター
- セクション数 2
- SS本数 7本
- SSスタート距離 8.87km
- 総走行距離 約130km
- 参加台数 59台
Class 1 11台
Class 2 5台
Class 3 13台
Class 4 30台
- 完走台数 55台 (不出走0台)
- 取材媒体
株式会社 ニュース出版
WRC PLUS 2008 (モータースポーツ誌)

株式会社 阿部ビデオ企画
CAR X'S (地上波テレビ番組(栃木・千葉・東京))

長野日報新聞社
長野日報 (地方版新聞)

いよいよスタート!

コース設定は、2in1スキー場の駐車場に特設コースを設定したテクニカルなグラベルパイロンSSと、ハイスピードなグラベル林道SSとターマック林道SSの全7SSとなった。



今回もサプライズゲストとして、スーパーGTやスーパー耐久レース等で活躍中の小林且雄選手と青木孝行選手の両現役ドライバーがヴィッツチャレンジClass1に参戦。ヴィッツチャレンジ参加者を驚かすとともに、Class1の競技を興味深いものとしていた。現役トップドライバーたちと同じステージで戦えるというこの機会は、参加者たちにとって素晴らしい経験となったことだろう。

サービスパークでは、障害者団体の見学会が催され、選手や色とりどりのヴィッツに興味深く眺めていた。初めて求められるサインや写真撮影にとまどいながらも喜んで応える光景はほほえましかった。



表彰式

グラベル比率は実に約70%という、本年のヴィッツチャレンジ全6ラウンド中最もグラベルに特化したラウンドとなった信州ラウンド。競技結果もその内容を反映したものとなったようである。

Class 1



Class 2



初参加の方々



Class 3



Class 4



Kosei 賞



Wako's 賞



次戦「Rd.4 in 京都」は、8月24日(日) 京都府南丹市周辺で開催いたします。